

8. 高齢者に近所で気楽に集まり楽しめる場 「まちの縁側」を提供

グループ名：まちの縁側

代表者名： 稲垣 弘子

①活動の目的

閉じこもりがちな高齢者に近所で気楽に集まれる場を提供する。一昔前にはどこにでもあった井戸端会議や縁側での自然な交流ができるよう自宅庭を解放し、近隣の高齢者が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しみ、手芸などで身の回りの小物を作ったりし、自分達の老後生活を豊かにすると共に、自分達で作った作品を福祉施設に寄贈するなど微力ながら社会貢献をする。

②活動概要

毎月第4木曜日を「まちの縁側」の日と決め、10：00～11：30に活動。

活動日程は事前に近隣高齢者に配布。

当日、コアメンバー3名が30分前に集まり、テーブルと椅子、夏はテント張り、お茶の準備をする。

三々五々近隣の高齢者が集まり始めるので、最初にお茶を入れ、雑談から始まる。

今日の計画を説明し、作り方を説明しながら小物等の制作に取り掛かる。

おしゃべりをしながらの制作で楽しいひと時を過ごす。笑いが絶えない。

お茶とお菓子を戴き、進み具合や来月の予定を話し合う。

自宅にある端ぎれや毛糸、ボタンなどを思い出し、持ち寄ってくれたりもする。

しばらく使っていなかった、アイロンを押し入れの奥から探し出し、持って来てくれる人もいる。

最後の片付けはコアメンバーと元気高齢者でおこなう。

製作した作品が多く出来たら近隣の福祉施設に寄贈する。

活動状況

「まちの縁側」平成23年5月に開設し、平成24年9月までに15回開催されている。

今回、助成頂いた平成24年10月からの活動状況を記す。

10月25日（木）10：00～11：30

前回に引き続き、フクロウの携帯トラップの制作をした。

2枚の布を縫い合わせ、綿をつめ、底を閉じる。目、鼻のフェルトを貼りつけ、底にもフェルトをつける。鈴の付いたトラップの紐を縫いつけて完成。

縫うのは苦手と言う人は綿を詰める役を引き受けたり、ボンドで目や鼻をつけたりと、自分に合った仕事を見つけ、流れ作業のようにして、完成させた。

太ったフクロウや細身のフクロウなど様々だが個性豊かに可愛いフクロウが出来上がった。

40個程、出来上がったので、どこの福祉施設に差し上げるか皆で話し合い、一番近くにある福祉施設に寄贈することに決めた。

新吉田ケアプラザに連絡し、持参。デイサービスでお誕生日を迎える人に順次差し上げると喜んでくださった。



出来上がったフクロウのトラップ

11月22日（木） 10：00～11：30

フクロウは細かくて、大変だったとの意見から、新しく、ティッシュケースカバーを布で作ることにした。

2枚の40cm程の布を縫い合わせ、表に返し、2カ所にボタンをつけるという単純なもの。雑談しながらの針仕事で、楽しく過ごした。

大き目のボタンを使用するので、自宅からボタンを探して持って来てくれる人もいる。



12月は年末のため中止

1月24日（木）は雨天のためお茶会だけで終了。

2月は寒さ厳しい折、体調を崩さないよう中止。

3月28日（木）10：00～11：30

少し離れた場所から95歳の女性と92歳の男性が初参加。

華道や茶道の話から病院の話まで、話題は様々。

飛び入りで、外出途中に寄り、お茶を飲みながら雑談をしていく人もいる。

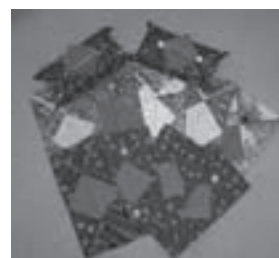


初参加の男性と女性も一緒に

2013年4月18日（木）

ティッシュケースカバー作りを続ける。自宅から端布やボタンを持って来る人もいる。

95歳の女性も綺麗に縫いながら、欧州旅行の話など雑談も楽しまれた。



出来上がった
ティッシュケースカバー

2013年5月23日（木）

ティッシュケースカバーも20枚程出来、次の作品を何にしようか話し合いながら、カバーを仕上げた。ティッシュケースカバーも新吉田ケアプラザに寄贈することにした。

自宅にある雑誌を持参し、次の作品づくりの候補を上げたりレース糸や毛糸など持ち寄ったり、皆積極的に参加している。

最近の男性参加者は1人だが、雑談には興味深くうなずいている。

参加者の男性は囲碁が趣味であることを知り、碁盤を持ち出し、臨時の囲碁教室を開いてもらった。

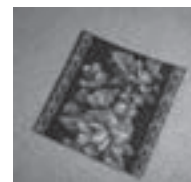
初心者にも分かりやすく、教えて下さりご自分の仕事があることに生き生きしている感じます。



囲碁教室の後でのお茶飲み

2013年6月20日（木）

レース編みでメガネホルダーを作ろうかと材料を用意したが、目が細かく難しいということになり、コースターを製作することに決めた。



2013年7月25日（木）

コースター作りと囲碁教室

2013年8月22日（木）

コースター作りと囲碁教室

猛暑日でテントを張り日除けにし、お茶飲みと雑談を主にした。



猛暑にも元気に活動

2013年9月26日（木）

参加者の娘さんから、洋服地3着分の生地を提供があり、利用方法を皆で検討し、前掛け作りをすることにした。囲碁教室も続いている。

大同生命厚生事業団から助成金を戴いたお陰で、高齢者の参加者の方々も気楽に参加してくれるようになりました。支援頂ける以前は、お菓子やお茶を持ち寄るなど気使いながらの参加で、少なからず負担に感じていた方も多いようです。

助成金を戴いたお陰で、気楽に手ぶらで参加し活動できると大変喜ばれました。地道な活動ですが、近隣の高齢者が外に出る機会になり、活動的になってきました。新たに参加したいと言ってこられる方もいて、少しずつ輪が広がりつつあります。この灯を消さないよう今後も続けていけるよう努力致します。

誠に有難うございました。

③決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金		50,000
支出	手芸材料	内訳	22,545
	布類	7,123	
	ボタン類	1,230	
	フェルト類	1,237	
	鈴・トラップ等小物	9,893	
	レース類	3,062	
	お茶類		7,154
	日本茶	4,425	
	紅茶	498	
	コーヒー	1,303	
	砂糖・ミルク	928	
	お菓子類 10回分		13,854
	連絡通信費 切手代		6,240
	資料コピー代		3,724
	コピー用紙代	648	
	インク代	2850	
	封筒	226	
	合 計		53,517